

事業所名

でいさーびす あいりんごS

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7 年

3 月

15 日

法人(事業所)理念		<p>「楽しい・安心できる・使命感」をテーマに重点を置いています。 まず、楽しい気持ちを持つためには、同じ目線に立って自分も一緒に楽しむ。 次に安心できる気持ちを持つためには、もしも相手が自分の家族や友達だったらと思って接することです。 最後に使命感は、「自分だから」「自分しかできない」という気持ちをもって行動する。</p>		
支援方針		<p>楽しい・安心できる・使命感を持った児童発達支援 発達に特性のある子どもたちが、自分らしく成長し、社会の中で豊かに生きる力を育むために、「楽しい・安心できる・使命感を持った支援」を大切にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた遊び(感覚遊び、運動遊び、リズム遊び、制作活動 など)を通じて、自然に力を伸ばす。 一人ひとりの興味や得意なことを活かす活動を取り入れ、成功体験を積みながら自己肯定感を育む。 楽しい雰囲気づくりを大切にし、笑顔あふれる関わりを心がける。 個々の特性に配慮した環境づくり(視覚的な支援、落ち着けるスペース、予測しやすいスケジュール など)。 子どもの気持ちに寄り添った支援を行い、不安や困りごとを受け止めながら、適切なサポートを提供する。 保護者とも連携し、安心できる支援体制を整える。 言語・認知・運動・社会性など、多面的な発達支援を行い、子どもの成長をサポートする。 日常生活に必要なスキル(食事・着替え・対人関係 など)を身につける支援を実施する。 専門的な学びを深めながら、より良い支援を追求する(チームでの支援計画、研修参加 など)。 子どもたちが将来自立し、社会の中で豊かに生きられる力を育むことを大切にする。 		
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<p>子どもたちが、日常生活に必要なスキルを無理なく身につけ、健康的な生活習慣を育めるように、以下のような支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 身支度の習慣づけ(衣服の着脱、靴の脱ぎ履き、整理整頓など) 食事のサポート(スプーンや箸の使い方、食事のマナー、好き嫌いの克服) 排泄のサポート(トイレの使い方、手洗い習慣) 挨拶や会話の練習(「おはよう」「ありがとう」などの基本的なコミュニケーション) ルールや順番を守る活動(遊びの中で自然に学ぶ) 自己表現のサポート(困った時に助けを求める、気持ちを伝える練習) 		
	運動・感覚	<p>子どもたちが、楽しみながら運動能力や感覚の発達を促し、日常生活での動きや姿勢の安定、自信につなげることを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ボールを投げる、キャッチする、蹴る(ボール遊び、ドッジボール) 腕や足を鍛える動き(ハイハイ競争、動物歩き) 姿勢の保持を意識するトレーニング(ストレッチ、ヨガ) さまざまな素材に触れる活動(砂遊び、水遊び、粘土、スライム) 感触の違いを楽しむ(ふわふわ、ザラザラ、ツルツルなど) 片足立ち、一本橋歩き、坂道歩行 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> カード遊び(神経衰弱、絵合わせ)でワーキングメモリを強化 間違い探しやパズル遊びで観察力・集中力を高める ブロックや積み木で形の認識や空間把握力を育む 視覚的スケジュール(絵カードやタイマー)で見通しを持たせる 「あと5分でおしまいね」などの予告で切り替えをスムーズに 感情カードや表情を使って「今の気持ちは？」と考える練習 		

	言語 コミュニケーション	<p>基本的な会話の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」などの挨拶を習慣化 ・「〇〇が好き!」「〇〇したい!」と自分の気持ちを伝える練習 <p>相手の気持ちを考える力を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この子はどんな気持ち?」と表情カードを見て考える練習 ・ロールプレイ(お店屋さんごっこ、病院ごっこ)で会話のやりとりを体験 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」などの基本的なあいさつを練習 ・握手やお辞儀など、場面に応じた礼儀を学ぶ ・目を見て話す、相手の話を聞く習慣をつける ・ペアやグループでの遊びを取り入れ、協力する経験を増やす ・「〇〇くんにボールを渡そう」など、自然なかかわり方を促す声かけ ・みんなでひとつの作品を作る活動(大きな絵を描く、共同制作など) 	
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「うちの子は大丈夫?」といった不安に寄り添い、相談に乗る ・日々の成長や変化を具体的にフィードバック(連絡帳で写真を活用) ・食事や着替えの練習方法を伝え、無理なく習慣化できるよう支援 ・兄弟姉妹との関わり方をサポートし、家族全体の関係性を良好に保つ支援 ・保護者が一人で抱え込まないよう、支援機関や地域のリソースを紹介 ・保護者の意見や要望を取り入れながら、支援内容を調整 ・家庭と連携しながら、子どもの「できた!」を増やしていく 	移行支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「先生の話を聞く」「順番を待つ」などの基本的な集団行動の練習 ・ランドセルの開け閉め、机の整理整頓など、小学校に必要なスキルを身につける ・学校の行事(運動会・発表会など)を想定した体験活動を実施 ・着替え、靴の脱ぎ履き、持ち物の管理など、学校生活に必要なスキルの練習 ・お弁当や給食での食事の練習(配膳、お箸の使い方、食べるペースの調整) ・トイレの使い方(学校では個室が多いので、その環境に慣れる) ・友だちとの会話の仕方やルールを遊びの中で学ぶ(相手の話を聞く、順番を守る) ・トラブルが起きたときの対処方法を練習(言葉で伝える、先生に相談する)
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・公園など、地域の施設を訪れ、公共の場でのルールやマナーを学ぶ ・消防署や警察署を訪問し、緊急時の対応や防災について学ぶ ・防災訓練や地域安全活動に参加し、災害時の対応を学ぶ ・SNSやホームページを活用し、支援の取り組みや子どもたちの成長の様子を発信 	職員の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で学び合う社内研修 ・外部研修への参加促進(発達障害、感覚統合、行動支援、虐待防止、家族支援など)。 ・「子どもと一緒に楽しむ」ことを大切にする文化をつくる(職員もイベントに積極参加)。 ・「支援のプロ」としての自覚を高め、専門性を深める環境を整備。
主な行事等	・初詣・節分・運動会・遠足・クリスマス会・全事業所合同活動など		